

学校だより

第11号



平成28年2月26日発行

子どもを5秒待つ！

校長 鈴木 ひさの 久之

2月も末日に近づきますと、学校の前庭の紅梅も満開を迎え、さわやかな香りを漂わせています。

さて、教職員の朝の打ち合わせでは、その日の行事の確認や留意事項について、全職員で共通理解を図り教育にあたっています。また、研修会等に参加した場合は、その報告を行い、情報を共有するようにしています。



2月10日にも校内研修会を開き、「発達障害のある児童生徒へのより適切なアセスメントや支援について」多くの学びができました。(次のページに紹介) その中でも、「待つ」ことへの大切さが取り上げられていました。私も「待つ」、それも「5秒待つ」ということが子どもたちの主体性を育てることにつながると感じています。

「5秒待つ」ということは、子どもが情報処理する時間を保障し、伝わってから活動できるようにするという意味と、子どもからの要求表現を待つという意味があります。

子どもと接する時、こちら側の「こうして欲しい。」という思いが強すぎると、子どもの意思と関係なく物事を進めてしまうことがあります。そこからは、子どもの主体性ある姿は望めないと考えます。

私も、今回の研修会をきっかけに、子どもたちとのかかわりで「5秒待つ」よう再度心がけてみました。「5秒待つ」ことは意外に長く感じるとともに、そうすることにより、これまでと違った子どもの姿を見ることができました。

これからも、子どもの自発的な姿を引き出すために、心にゆとりを持ち、見守る姿勢を大切にしながら子どもたちの指導に努めていきたいと思っております。

学校改善に向けた取り組み 1月30日(土) 全校保護者会・授業参観の感想

保護者の皆様からの感想を紹介します。

- ・ 全校保護者会では、学校評価アンケートの結果を、スライドとともに説明していただいたのでわかりやすかったです。
- ・ 授業は、どの学級も楽しそうに作業ができていて、良かったと思います。
- ・ どの学級の掲示物も、季節感があり、子ども達の活動がよくわかるように工夫されていました。
- ・ 子ども達の好奇心いっぱいの表情と満足そうな笑顔が印象的で、とても良かったです。